

新型コロナウイルス感染症対策に伴う
新 B O P 学童クラブの実施時間延長モデル事業等への影響について

1 主旨

現在、新 B O P 学童クラブは、学校の協力により活動スペースの拡充を図り、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行いながら運営している。今後も引き続き教育委員会と子ども・若者部で連携し、安全に配慮した取り組みを最優先で行う必要がある。

そのため、平成 31 年 4 月から開始した新 B O P 学童クラブの実施時間延長モデル事業の検証等を含む新 B O P 学童クラブのあり方について、スケジュールを見直し、区民の生活様式の変化や緊急時の対応及び安全対策のあり方等を加味した上で、全保護者へのアンケートを実施し、実効性のあるニーズを収集した上で検討を進めていく。

2 モデル事業 2 年目（令和 2 年度）の実施内容について

（1）モデル事業実施校

前年度との比較及び子どもの成長の経過をみるため、引き続き同じ 5 校（桜小学校、下北沢小学校、玉川小学校、喜多見小学校、千歳台小学校）で実施している。

（2）検証・検討内容

- ・子どもの自立に関する影響や認識、行政が担う役割等についての検討を行う。
- ・延長ニーズに応える事業展開を検討するための基礎資料として、全新 B O P 学童クラブ利用の保護者を対象として利用時間、利用期間、利用頻度、学童クラブ以外のサービスについて等のアンケート調査を実施するとともに、今後の新 B O P 事業の見直しのための項目も設定し、調査を行う。
- ・各アンケート調査結果及びモデル事業の実績を踏まえ、延長ニーズに応える事業内容や手法、新 B O P 以外の子どもの放課後の居場所等の様々な施策や事業の組み合わせ等を検討する。
- ・新 B O P 事業の運営方法や課題解決に向けた検討を行い、令和 3 年度以降の事業展開を検討する。
- ・今回の新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、緊急時における新 B O P の対応や安全対策について検討する。

（3）アンケート調査概要

対象	内容
児童・保護者・従事者 （モデル事業利用者）	児童、保護者、従事者の状況を把握し、年度による違いを把握する。
保護者 （全新 B O P 学童クラブ）	延長に関する利用時間、利用期間、付帯的なサービスの利用意向、新 B O P 事業について

全保護者アンケートは、保護者負担を鑑みウェブで実施する。

(4) 全新BOP学童クラブ利用保護者アンケート内容

実施時間延長について

時間帯や利用期間、頻度等の利用意向

新BOP学童クラブ以外の放課後事業等の利用について

民間の学童クラブ等の利用意向やその内容、理由、料金等

他自治体の実施事業等（民間の学童クラブとの連携、地域の放課後の居場所事業等）
の利用意向やその理由、料金等

新BOP事業全体について

実施場所や利用希望学年、サービス、料金等について

新型コロナウイルス感染症拡大等に伴う緊急時の対応等について

各学校の安全面に配慮した定員の設定、必要なサービス、学校との連携

(5) まとめについて

- ・保護者アンケートや利用実態、人員の確保状況、子どもの過ごし方や状況の分析を踏まえ、ニーズや有効性、今後の進め方について検証・検討しまとめる。
- ・全区的な延長実施に向けて、実施の可否及び実施の時間帯や取組み等について検討・検証しまとめる。
- ・緊急時の新BOPに、安全を確保した上でどのような対応を求めるのか等について分析し、重点的に取り組むべき課題を導き出す。

3 今後のスケジュール（予定）

令和2年8月下旬 新BOP事業のあり方検討委員会（第1回）

テーマ：新BOPの現状、課題、今後の対応

9月上旬 アンケート実施

下旬 アンケート回収

10月中旬 アンケートまとめ速報

新BOP事業のあり方検討委員会（第2回）

テーマ：アンケートのまとめの報告

11月 新BOP事業のあり方検討委員会（第3回）

テーマ：延長について、新事業について

12月 新BOP事業のあり方検討委員会（第4回）

テーマ：新事業について

令和3年2月 2 常任委員会報告(モデル事業2ヵ年のまとめ及び今後について)

令和3年度 新BOPの今後の方向について検討

9月 2 常任委員会報告（新事業も含めた今後の取組みについて）

令和4年2月 2 常任委員会報告（子どもの自立を含めたモデル事業のまとめ、令和4年度以降の取組みについて）